

平成29年度久留米市田主丸財産区
歳入歳出決算審査意見書

1 審査の対象

平成29年度久留米市田主丸財産区歳入歳出決算及び附属書類

2 審査の期間

平成30年7月20日から平成30年8月30日まで

3 審査の方法

審査に付された歳入歳出決算書及び附属書類は法令に基づいて調製されているか、決算計数等は正確であるか、予算の執行は適正になされているか等を主眼として関係諸帳簿その他の書類等により照合及び確認、内容の検討を行うとともに、関係職員から補足説明を聴取し、審査を実施した。

4 審査の結果(意見)

審査に付された決算書及び附属書類は関係法令に準拠して調製されており、おおむね適正に作成されていた。また、現金・預金については、残高証明書と歳入歳出差引残高とが符合した。

以下、平成29年度決算の概要及び意見を述べることとする。

なお、決算審査資料を末尾に添付しているので参照されたい。

(1) 決算の概要

(単位:千円・%)

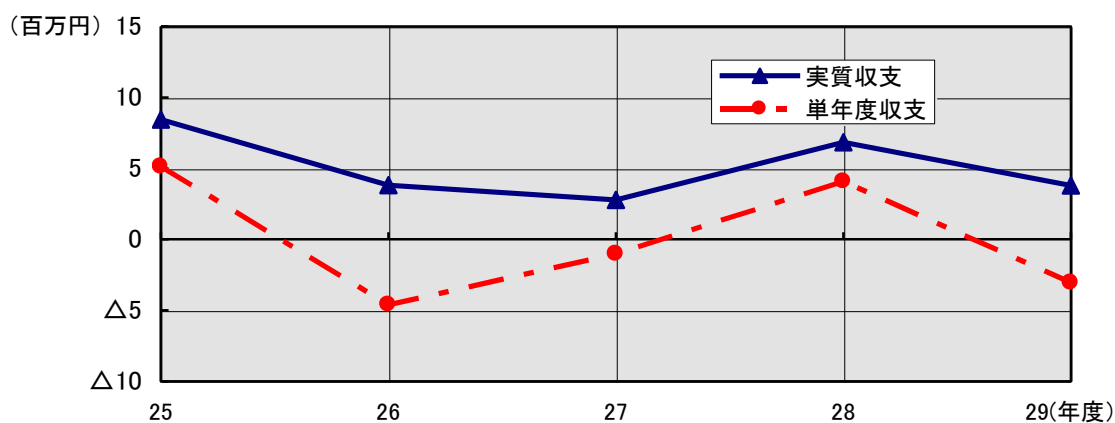
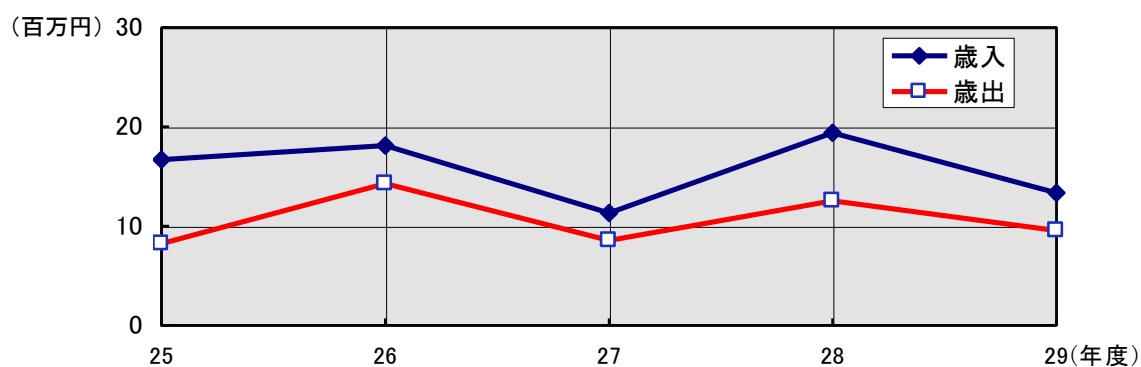
区 分	平成29年度 A	平成28年度 B	比較増減額 A-B C	増減比率 C/B	予算執行率
予 算 現 額	22,430	18,000	4,430	24.6	/
歳 入 決 算 額	13,356	19,403	△ 6,047	△ 31.2	59.5
歳 出 決 算 額	9,563	12,554	△ 2,991	△ 23.8	42.6
歳入歳出差引残額	3,793	6,849	△ 3,056	△ 44.6	/

歳入歳出差引残額379万3千円が、剰余金として翌年度に繰り越されている。

本年度の歳入の主なものは、繰越金684万9千円、繰入金300万円、諸収入135万6千円、県支出金110万1千円である。一方、歳出の主なものは、議会費332万8千円、諸支出金273万8千円となっている。

なお、最近5か年の決算規模並びに実質収支及び単年度収支の推移を示すと、次のとおりである。

最近5か年の決算規模並びに実質収支及び単年度収支の推移



区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
歳入 (A)	16,676	18,089	11,333	19,403	13,356
歳出 (B)	8,238	14,268	8,544	12,554	9,563
形式収支(A)-(B)	8,438	3,821	2,789	6,849	3,793
実質収支	8,438	3,821	2,789	6,849	3,793
単年度収支	5,119	△ 4,617	△ 1,032	4,060	△ 3,056

(2) 財産に関する調書

ア 公有財産(建物及び山林) ※建物面積の小数点以下は四捨五入している。

区 分	面 積 (㎡)			立木の推定蓄積量 (㎡)		
	平成29年度	平成28年度	増減	平成29年度	平成28年度	増減
建 物	57	57	0			
山 林	7,706,637	7,706,637	0	326,745	326,745	0

本年度は、建物及び山林の面積に変動はない。立木の推定蓄積量については、5年ごとに成長量等を推計する際に、売り払い等による減少分と合わせて算出している。本年度の数値は県が作成した森林簿(平成25年度調査)の数値を基にしたものである。

イ 物 品

本年度は、物品に係る増減はなく、前年度末現在高と同じく、本年度末現在高も軽四輪貨物及びチェーンソーの計2点となっている。

ウ 基 金

(単位:千円)

区 分	平成29年度末 現在高	平成28年度末 現在高	増 減
田主丸財産区基金	278,383	280,519	△2,136

減少分の2,136千円は、基金取崩額300万円と基金運用による利子収入の積立額86万4千円との差額である。

(3) むすび

本年度決算の概要及び財産の概況は、表及びグラフ等に示したとおりである。それらに係る特徴又は事情等としては、次のようなことが挙げられる。

歳入歳出決算において、歳入の1,335万6千円に対して、歳出は956万3千円で、差し引き後の実質収支額は379万3千円の黒字となり、単年度収支は305万6千円の赤字となっている。

歳入のうち、繰入金は歳出の減に伴い400万円減少し、財産収入は本年度に木材の搬出及び売却がなかったため541万8千円減少している。一方、諸収入はカーボン・オフセット・クレジットの売払収入の増により53万5千円増加している。剰余金として本年度に繰り越した繰越金も、前年度決算の剰余金の増により406万円増加している。また、県支出金の46万9千円の減少と、市支出金の75万5千円の皆減は、前年度と比べ造林事業の規模が縮小したことや、補助金の種類の相違が影響したものである。

一方、歳出のうち、議会費は、前年度に比べて65万3千円増加しているが、これは2年に1回実施される財産区議員の視察研修が本年度に実施されたことによる。林業費は前

年度に比べて575万3千円減少しているが、これは、本年度は下刈及び間伐のみ実施し、造林事業の規模縮小を行ったことによる。また、諸支出金は、273万8千円増加(皆増)しているが、これは公債費の償還が増えたことや、議会議員の改選により一般選挙執行経費が発生したことなどによる。

新たな収入源として、平成24年度から取り組んでいるカーボン・オフセット・クレジット事業は、6年間で、売上収入の累計が513万8千円となり、当初の投資金額(259万8千円)を上回っている。今後も、27年度に再認証を受けたクレジットを活用し、また、PR活動の推進も図りながら、当事業の一層効果的な運営に努められたい。

一方で、平成8年度から11年度まで公有林整備資金として借り入れた債務は、前年度までは利子のみの支払い(年86万3千円)で据え置かれていたが、本年度からは元利償還が開始され、平成41年度まで最大で年に453万1千円の支出が続くことになる。その償還のための資金は現状のままでは生み出すことが難しく、中期財政計画によると、今後は基金を毎年取り崩しての返済を予定しており、財政事情は良好とは言えない。

森林の荒廃や林業従事者の減少及び高齢化など、昨今の林業を取り巻く状況は厳しいものとなっている。財産区に期待される森林の育成管理や多面的機能の維持という公共的・公益的な役割を果たすとともに、今後も引き続き、長期的な視点に立ち、財産区としての将来を慎重に検討した上で、適正な運営に努められたい。

(資料1) 田主丸財産区 平成29年度 歳入歳出予算決算対照表

歳 入

(単位:円・%)

款 別	(イ) 予算現額	調 定 額	(ロ) 収入済額	不納欠損額	収入未済額	(ロ)の(イ)に 対する 割合	収入済額 の 構成比率
1 県支出金	1,181,000	1,100,720	1,100,720	0	0	93.2	8.2
2 市支出金	108,000	0	0	0	0	0	0
3 財産収入	1,252,000	1,050,672	1,050,672	0	0	83.9	7.9
4 繰入金	13,000,000	3,000,000	3,000,000	0	0	23.1	22.5
5 繰越金	6,220,000	6,849,325	6,849,325	0	0	110.1	51.3
6 諸収入	669,000	1,355,674	1,355,674	0	0	202.6	10.1
合 計	22,430,000	13,356,391	13,356,391	0	0	59.5	100

歳 出

(単位:円・%)

款 別	予 算 現 額			(ロ)支出済額	不用額	(ロ)の(イ)に 対する 割合	支出済額 の 構成比率
	当初予算額	補正予算、繰越等、 予備費、流用増減	(イ) 計				
1 議会費	4,295,000	0	4,295,000	3,327,803	967,197	77.5	34.8
2 総務費	2,792,000	0	2,792,000	1,359,957	1,432,043	48.7	14.2
3 林業費	6,078,000	0	6,078,000	2,137,320	3,940,680	35.2	22.4
4 諸支出金	8,655,000	0	8,655,000	2,738,260	5,916,740	31.6	28.6
5 予備費	610,000	0	610,000	0	610,000	0	0
合 計	22,430,000	0	22,430,000	9,563,340	12,866,660	42.6	100

(資料2) 田主丸財産区 歳入歳出決算額の年度別比較表

(単位:円・%)

款 別	平成29年度			平成28年度			平成27年度		
	決算額	伸び率	構成比率	決算額	伸び率	構成比率	決算額	伸び率	構成比率
歳入決算額	13,356,391	△ 31.2	100	19,403,176	71.2	100	11,333,994	△ 37.3	100
1 県支出金	1,100,720	△ 29.9	8.2	1,569,410	△ 19.0	8.1	1,937,560	△ 48.7	17.1
2 市支出金	0	皆減	0	754,620	△ 20.1	3.9	943,970	198.7	8.3
3 財産収入	1,050,672	△ 83.8	7.9	6,468,861	364.3	33.3	1,393,332	△ 6.0	12.3
4 繰入金	3,000,000	△ 57.1	22.5	7,000,000	皆増	36.1	0	-	0
5 繰越金	6,849,325	145.5	51.3	2,789,680	△ 27.0	14.4	3,821,776	△ 54.7	33.7
6 諸収入	1,355,674	65.2	10.1	820,605	△ 74.7	4.2	3,237,356	△ 20.6	28.6
歳出決算額	9,563,340	△ 23.8	100	12,553,851	46.9	100	8,544,314	△ 40.1	100
1 議会費	3,327,803	24.4	34.8	2,674,416	△ 11.5	21.3	3,020,263	19.5	35.3
2 総務費	1,359,957	△ 31.6	14.2	1,988,955	9.5	15.8	1,815,871	△ 16.5	21.3
3 林業費	2,137,320	△ 72.9	22.4	7,890,480	112.8	62.9	3,708,180	△ 61.2	43.4
4 諸支出金	2,738,260	皆増	28.6	0	-	0	0	-	0
5 予備費	0	-	0	0	-	0	0	-	0

款 別	平成26年度			平成25年度			平成24年度		
	決算額	伸び率	構成比率	決算額	伸び率	構成比率	決算額	伸び率	構成比率
歳入決算額	18,089,510	8.5	100	16,676,520	50.8	100	11,055,245	△ 29.1	100
1 県支出金	3,775,880	257.6	20.9	1,056,000	△ 47.4	6.3	2,007,400	皆増	18.1
2 市支出金	316,000	15.8	1.7	273,000	△ 16.8	1.6	328,000	17.6	3.0
3 財産収入	1,482,557	△ 0.0	8.2	1,483,283	△ 30.9	8.9	2,146,793	△ 17.2	19.4
4 繰入金	0	皆減	0	9,000,000	皆増	54.0	0	-	0
5 繰越金	8,438,837	154.2	46.7	3,319,462	△ 40.7	19.9	5,600,861	△ 43.3	50.7
6 諸収入	4,076,236	163.9	22.5	1,544,775	58.9	9.3	972,191	△ 65.9	8.8
歳出決算額	14,267,734	73.2	100	8,237,683	6.5	100	7,735,783	△ 22.7	100
1 議会費	2,527,182	△ 26.1	17.7	3,421,263	57.0	41.5	2,179,395	△ 20.5	28.2
2 総務費	2,175,640	△ 5.7	15.3	2,308,339	△ 2.5	28.0	2,367,702	△ 7.5	30.6
3 林業費	9,564,912	348.2	67.0	2,134,125	△ 33.1	25.9	3,188,686	△ 32.2	41.2
4 諸支出金	0	皆減	0	373,956	皆増	4.6	0	-	0
5 予備費	0	-	0	0	-	0	0	-	0